

愛知県安城市内の小学校全
二十一校で五月に開かれた運
動会のうち、九校が午前中
みの開催となった。昨年は二
校。各校が決断した背景に
は、子どもたちの体力的な負
担や練習時間を減らす目的
のほか、保護者の一部からの
負担軽減を求める声があっ
た。

市教委などによると、新年
度が始まって間もない時期か
ら運動会の練習に授業時間を
多く割かれるため、子どもと
教員の双方に負担が大きいと
いう現状があった。暑さが厳
しくなる時季で、体力のない
低学年を中心に熱中症などの
心配も。

さらに多くの学校で、応援
場所の確保のために保護者の
間で混乱が起きたり、校庭に
張られた多くのテントのため

広まる半日運動会

安城・親子とも負担減

に競技が見えづらくなったり
といった問題が起きていた。

弁当作りの負担を訴える声
が、市に寄せられたこともあ



運動会の練習に取り組み
児童ら＝愛知県安城市で

った。

こうした問題を受け、数年
前から一、二時間短縮した
り、午前中のみで開催を検討
したりする学校が出てきた。

時間を短縮したことで、テン
トの持ち込みや事前の場所
取りを取りやめた学校もあ

る。



一方で「競技が減れば、運
動が得意な子の活躍の場が少
なくなる」「お弁当の時間が
楽しみだったのに」などの意
見も出た。市教委の担当者は

「来年以降については、保護
者の意見も聞いて判断するこ
とになるだろう」と話す。愛

知教育大保健体育講座の森勇
示教授は「スポーツの楽しさ
を知る、年に一度の大切な

場。効率的な運営に知恵を絞
って」と呼び掛けている。

取材 後記

「お弁当を作
らずに済んだの
は楽だった」
「午前中だけだ
と、やはり物足りないかな」。半日運動会に参加した保護者は賛否両論。祖父母世代の関心も高く、各所で話題になった。

来年から新たに半日開催
にすることを、保護者に告
げた学校もある。安城市で
はさらに動きが広がりそう
だ。たとえ時間が短くても
十分に楽しめる、今までに
ない運動会を一。学校と保
護者、そして子どもが一緒
になって考える場ができれば
と思う。(四方さつき)

5月25日付 西三河版から